



学 校運営協議会



九日に第四回学校運営協議会を開催しました。会では、十二月に実施した学校評価アンケート結果（成果と課題）について説明を行い、今年度の重点取組事項などについて意見を交わしました。

【説明(学校評価について)】

○保護者アンケートについて

各項目ともプラス（肯定的）評価がおおむね九十%前後となっており、昨年度と比較して、プラス評価、マイナス（否定的）評価の割合が大きく変わった項目はない。「次の学びを楽しみにする」は、他の項目に比べ、プラス評価はやや低めになっている。「児童主体の学級づくり」は、保護者、児童ともにマイナス評価が割以上みられる。「褒め励ます」「相談に親身になって対応する」もマイナス評

文責 本宮小校長 佐久間仁

価が10%ほどみられ、教師の接し方や悩みへの対応に割の方が不満を感じている。自由記述にも厳しい意見が複数寄せられている。

○児童アンケートについて

昨年度と比較して、評価が上がっている項目は「読書タイム、本の読み聞かせが好き」「早寝早起き朝ご飯、ゲームなどのきまりを守る」だった。「家庭学習に毎日取り組む」「親切にする」もそれぞれプラス評価が増えた。課題としては、「学校に来るのが楽しい」が、マイナス評価の児童の割合が増えており、教師の認識との差がある。「自分の考えを書いたり話したりできる」「話し合いをして考えるのが楽しい」などは、昨年度と比べ大きく評価は下がっていないが、マイナス評価が二割程度みられる。自由記述において「いじめ、暴力、仲間はずれがない学校」「理不尽な先生が少ない学校」にしたいなど児童同士、児童と教師との関係についての記述がみられた。「学校に来るのが楽しい」のマイナス評価との関連で注視する必要がある。

【意見交換(重点事項について)】

○あいさつ運動について
・学校評価ではあまりあいさつができないという声も聞かれるが、本小の子は地域において元気にあ

いさつする子が多いと感じている。
・知らない人にあいさつすること、危ない目に遭うのではという心配を感じている方もいるようだ。
・あいさつは、相手に「私はあなたを見ています」というメッセージを伝えることになるので、声かけなどの犯罪を抑止する面もある。
・メリットとデメリットの両面から考えなければならぬと思う。

○登下校の安全指導について

・車で送迎されてくる子が多い。身体弱い子や登校渋りなど、事情がある場合は別として、親は車で送った方が楽だからと安易に送ってしまう場合があるのではないかと。親の仕事の都合なのか早い時間に送られてくる子も少なくない。
・北門付近の路上や郵便局の駐車場で降りる子もおり、約束が守られない。混雑時に旧国道上で一時停止して子を降ろすケースもあった。迷惑行為であり、大変危険だ。
・朝、校門付近が大変混雑している。先日、雪の日に車同士がぶつかる事故を見た子どもから聞いた。一つ間違えば、子どもたちが巻き込まれる危険もあると感じた。
・ふつう登校班は八人前後いるはずだが、いつも決まった子が歩いていない。基本は歩きで、登校班と一緒に歩くことで、体力がつき、互いを思いやる心も育つと思う。

※運営協議会委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。



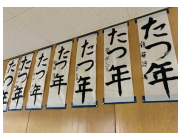
熱心な協議

入 賞おめでとう

【第八十八回福島県書きぞめ展】

【特選（毛筆の部）】

- 一年 加藤彩希
- 二年 小嶋智也
- 三年 國分心晴 遠藤悠馬
- 四年 菅野愛彩 菅野 詩
- 五年 國分優杏
- 五年 宗像美彩
- 六年 青池惺愛



【特選（硬筆の部）】

- 一年 藤田結香
- 二年 猪狩愛心 吉田 心

※後日、表彰式で伝達いたします。

【お知らせ】

○県PTA連合会より、この度の能登半島地震で被害に遭われた方への義援金の依頼がありました。九日のPTA本部役員会で協議し、PTA会計より支出することを決定しました。ご理解のほどお願いします。